

組織の開発課題を解決したい

これまで、ISO9000シリーズやAutomotive SPICEに基づく改善活動は推進してきた。一方で、受注量の増加に伴い、特定の製品開発の品質が低下し、組織の重要課題として早急に対処する必要がある。問題の原因分析から対処策の実践までを行うタスクフォースを編成したい。



Business Cube & Partners

一般的な工学知識を深めつつ、具体的な解決策を立案する

業務状況を可視化する仕組みを最適化し、マネジメントを代行する

◆ 概要

- 弊社プロフェッショナルが、課題解決の具体策を貴社のメンバと共同で立案します。
- ワークショップ形式を適用することで、貴社のメンバに対するトレーニングと解決案の検討をセットでご提供しています。

◆ 本サービスの特徴

- 知識提供するトレーニングとは異なり、貴社固有の課題解決を行うことを目的としています。
- 課題要因を、貴社メンバへのヒアリングやディスカッション等から特定し、貴社にとって最適な解決策を共同で導き出し、評価します。
- 弊社プロフェッショナルが持つ、一般的な工学知識・豊富な経験と、貴社の文化・製品特性との相互作用によって、固有課題に直接効くソリューションを構築します。

◆ ワークショップの一般的な流れ

ワークショップ	計画	事前打合せ 方針決定	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題の特定 <ul style="list-style-type: none"> ■ 直面している課題を弊社-貴社間で共有 ■ 解決策の検討アプローチの立案
	実施	情報収集 成果物の確認	<ul style="list-style-type: none"> □ 情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ■ インタビューやディスカッションによる状況確認 ■ プロジェクトの成果物による状況確認
	評価	解決策の 検討	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題原因の特定 <ul style="list-style-type: none"> ■ 課題原因の究明と分析結果の共有 □ 解決策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ■ 組織特性を考慮した、解決策の検討 ■ ディスカッション等による解決策の妥当性評価
	実践	報告会	<ul style="list-style-type: none"> □ 解決策の具現化 <ul style="list-style-type: none"> ■ 技術文書の生成 ■ プロセス資産類の整備

- ◆ ソフトウェアアーキテクチャの見直しと開発プロセスの再構築
 - 既存成果物の調査と開発担当者へのインタビュー
 - ソフトウェアアーキテクチャの設計とエレメント抽象度の定義
 - ソフトウェア開発プロセスの最適化
 - プロセス資産類の整備
- ◆ モデルベース開発プロセスの構築
 - 既存成果物の調査と開発担当者へのインタビュー
 - モデルベース開発を意識したソフトウェアアーキテクチャの検討
 - ツール活用を含むソフトウェア開発プロセスの構築
 - プロセス資産類の整備
- ◆ 複数プロジェクトの統合管理プロセスの構築
 - 既存の管理帳票類の調査と開発現場へのインタビュー
 - 現状の作業フローの可視化
 - 統合管理を実現する作業フローと管理メカニズムの構築



Business Cube & Partners

お問合せは下記までお気軽にご連絡ください。

ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社

コンサルティング事業部

consulting@biz3.co.jp

<http://biz3.co.jp>